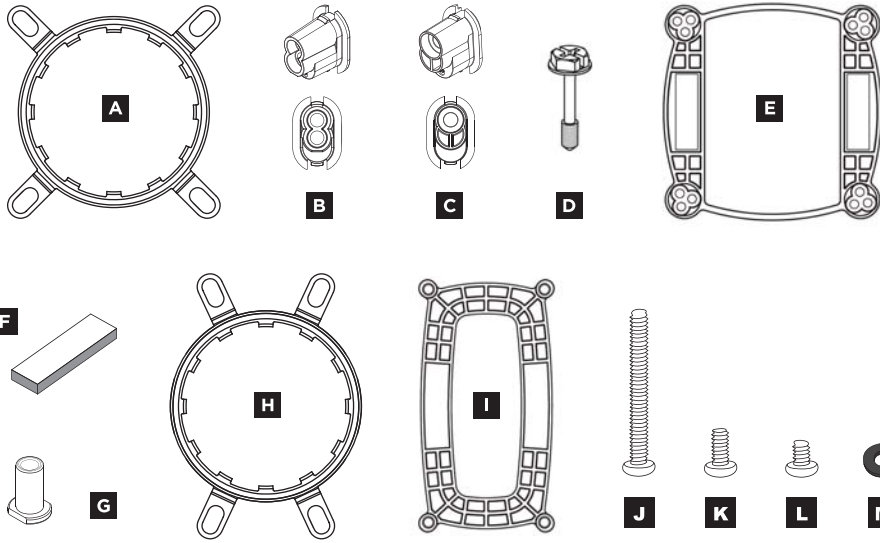




アプサラス インストールマニュアル

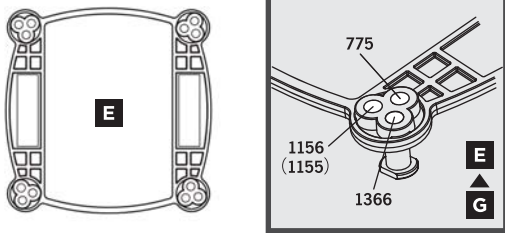
★ パーツリスト 組み立て前に全てのパーツが揃っているかご確認下さい。



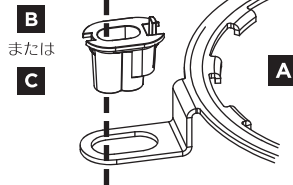
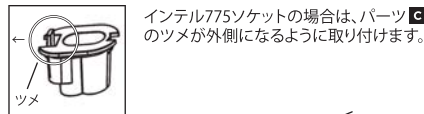
- A** インテル用リテンションリング 1輪
- B** インテル1155/1156/1366用マウンター 4個
- C** インテル775/AMD用マウンター 4個
- D** 取付ネジ 4本
- E** インテル用バックプレート 1枚
- F** スポンジ 2枚
- G** ネジ受け 4個
- H** AMD用リテンションリング 1輪
- I** AMD用バックプレート 1枚
- J** ネジ(長) 4本
- K** ネジ(中) 4本
- L** ネジ(短) 4本
- M** メタルワッシャー 4枚

※メタルワッシャーは必要に応じて使用してください。

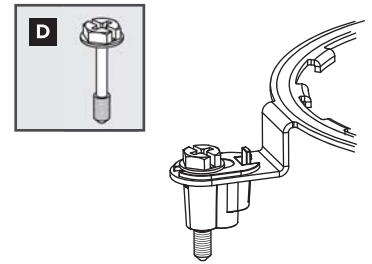
1 取り付け金具の準備 INTEL LGA 1366/1156/1155/775



①インテル用バックプレート【E】の裏側の刻印を確認し、お使いの対応ソケットに合わせてネジ受け【G】を取り付けます。



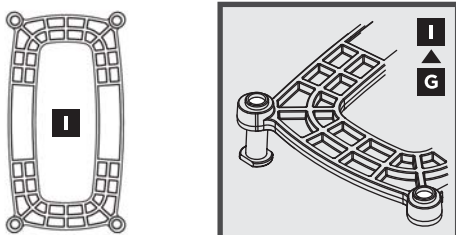
②インテル用リテンションリング【A】に、1155/1156/1366ソケットの場合はインテル1155/1156/1366用マウンター【B】を、775ソケットの場合はインテル775/AMD用マウンター【C】を取り付けます。



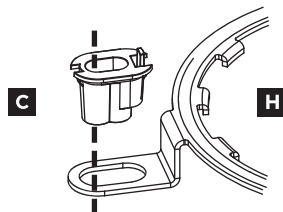
③取付ネジ【D】を②で取り付けしたマウンターに差し込みます。

※インテル775ソケットの場合は、パーツCのツメが外側を向いています。

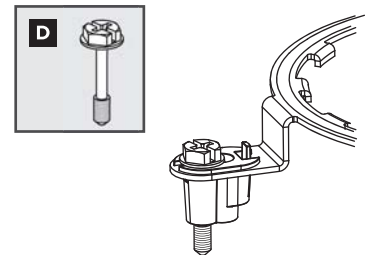
1 取り付け金具の準備 AMD AM2 / AM3



①AMD用バックプレート【I】の穴に合わせてネジ受け【G】を取り付けます。



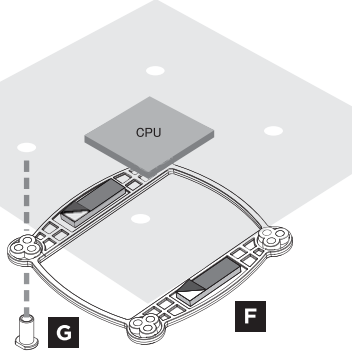
②AMD用リテンションリング【H】の足に、インテル775/AMD用マウンター【C】を取り付けます。



③取付ネジ【D】を②で取り付けしたマウンターに差し込みます。

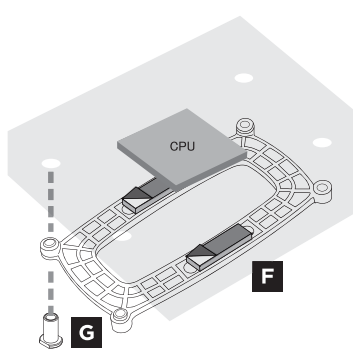
2 ヘッドユニットのマザーボードへの取付け (intel / AMD共通)

intel系バックプレート



※1で取り付け済み

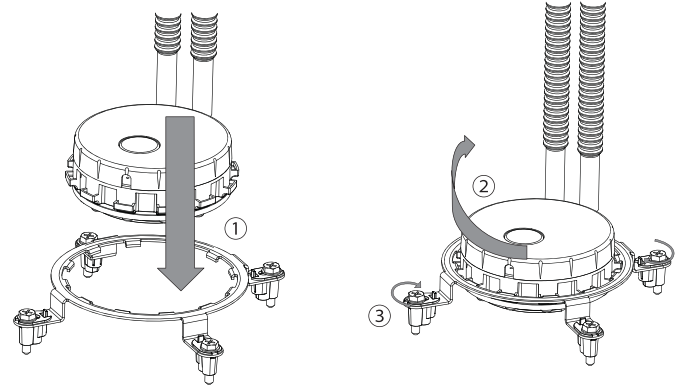
AMD系バックプレート



※1で取り付け済み

①スポンジ【F】をバックプレートの両脇に貼り付けてから、バックプレートをマザーボードに装着します。

※スポンジの粘着力は、取付・取り外しなどの繰り返しの再使用を想定しておりません。



⚠ 出荷時グリス塗布済み

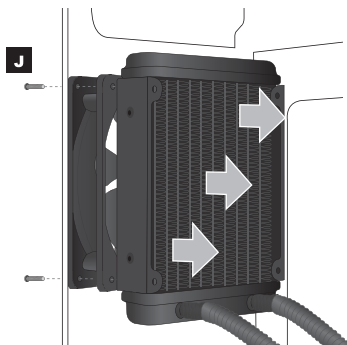
②ヘッドユニットをリテンションリングの歯車状の形状に合わせて、お互いを噛み合わせて取り付けおきます。

③取付ネジ【D】4本を対角線の順にドライバーで締め付けて、マザーボードへ取り付けます。

3 ラジエーターユニット / ケースへの取付け

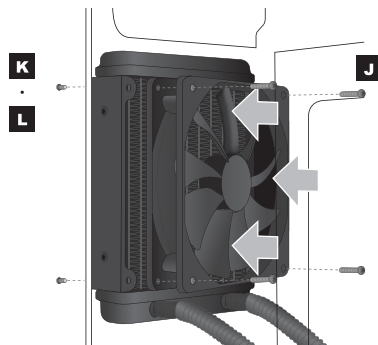
ラジエーターの両面にネジ穴がありますので、最大2基のファンを取り付けることが可能です。ファンの風向きは、必ずラジエーターへ風を吹き付ける向きでファンを取り付けてください。

【取付例 1】 シングルファンの場合



エアフローA

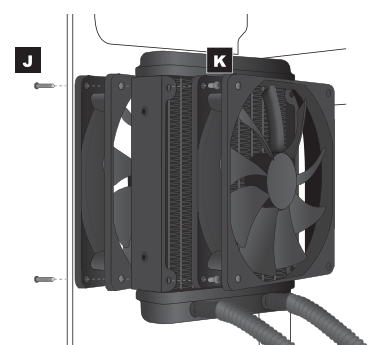
ファンとPCケースへの取付はネジ(長)【J】で共締めとなります。



エアフローB

ファンの取付には、ネジ(長)【J】を使用します。ラジエーターをPCケースに取り付けるには、PCケースのフレームの厚みに応じて、ネジ(中)【K】または、ネジ(短)【L】を使用します。

【取付例 2】 デュアルファンの場合

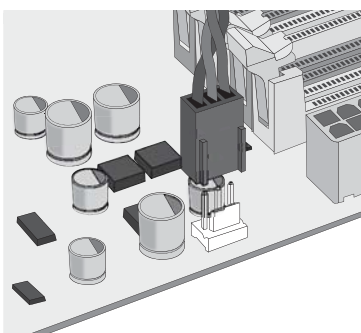


エアフローA / Bどちらも選択可。

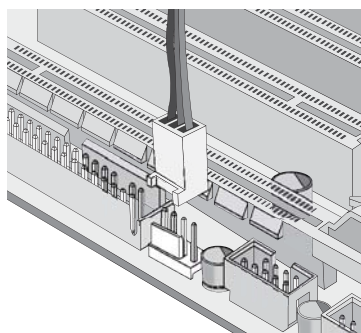
外側ファンはネジ(長)【J】、内側ファンはネジ(中)【K】で固定します。

★ユーザーの環境やPCの構成により、最もパフォーマンスが発揮できる組み合わせは異なります。あなたのベストを探してみましょう!

4 ポンプ用電源コネクタとファンコネクタの接続



ポンプ用電源コネクタ (3ピンコネクタ形状)



ファンコネクタ

①ヘッドユニットのポンプ用電源コネクタ (3ピンファンコネクタ形状) を、お使いのマザーボードのボードレイアウトやマニュアルを参照して、ファン用のヘッダ (3ピンヘッダ推奨) に接続してください。

②ファンコネクタをマザーボードのファン用のヘッダに接続します。

⚠ ご注意ください!

接続したポンプ用電源コネクタに対し、BIOSやソフトウェア上で何らかのファンコントロール機能が設定されている場合、ポンプの能力を最大限に引き出すためにファンコントロール機能を無効にしてください。

ファンコントロール機能の詳細につきましては、マザーボードメーカー様へお問い合わせください。